



GOOD DESIGN AWARD 2024

# 「クレヴィア新御徒町」が 2024年度グッドデザイン賞を受賞

伊藤忠都市開発株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:松 典男)は、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2024年度グッドデザイン賞において、分譲マンション「クレヴィア新御徒町」が受賞しましたのでお知らせいたします。

今後も、お客様の視点に立ったものづくりを追求し、新たな価値の創造と豊かで快適な住まいづくりに取り組んでまいります。

## ■「クレヴィア新御徒町」

### <プロジェクト概要>

近年、狭小化が進む都心マンションにおいて、天井の高さを活かした立体的なアプローチを行うことで、住戸の開放感・快適性といった物理的な居住性向上に加えて、縦の空間を有効活用し、自分らしくアレンジできる余白を創出。都心の限られた床面積の中で居住空間の自由度を向上させるため、高さに着目し、面積以上に部屋全体の広がりを感じられるクリエイティブで自由な居住空間を提案しました。

### <デザインのポイント>

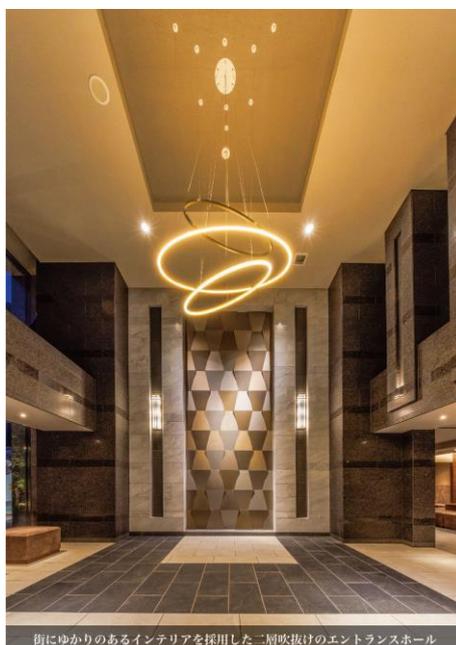
- ①15階相当を14階建にすることにより、全階層で約3.2mの階高を確保。一般的なリビング・ダイニングの天井高が約2.4mの中、全住戸2.7m以上とし、約12.5%の空間量アップを実現しました。
- ②約2.2mのサッシ高やワイドスパンと組み合わせることで、明るく開放的な住空間を創出。高さを活かした高効率収納や床下収納、メゾネットプランを用意し、機能性を高めつつ、ライフスタイルによる選択肢も増やしました。
- ③共用部には二層吹抜けのエントランスホールやリモートワークに対応したブースを設けるなど「高さや自由度」をテーマにした設計としました。



### <審査委員評価コメント>

高層の集合住宅は、事業性や構造計画、設備計画などに高いハードルがあるため、とかく画一的な住戸構成に陥りやすい。しかしこの作品は、あえて1層減らすことで高い階高を確保し、従来の事業性に新たな評価軸を導入した点で、極めて野心的である。さらに様々な規模の住戸、メゾネット住戸なども組み込み、多様性と快適性を高い次元で実現している。街は本来、多様な人々の多彩な暮らしが展開して初めて魅力的なものになる。その意味で、こうした高層集合住宅が丁寧に作られていくことは、大いに歓迎したい。

<添付資料>



◆「クレヴィア新御徒町」物件概要

事業主	伊藤忠都市開発株式会社
所在地	東京都台東区鳥越一丁目 30-8
総戸数	52戸
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 14 階建
敷地面積	491.92 m <sup>2</sup>
間取り	1LDK～3LDK
竣工	2023 年 12 月
設計・監理	株式会社陣設計
施工	第一建設工業株式会社

「グッドデザイン賞」とは

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は、優れたデザインの象徴として広く親しまれています。 <https://www.g-mark.org/>

◇伊藤忠都市開発のグッドデザイン賞受賞実績は、公式 HP をご覧ください。 <https://www.ipd.co.jp/gd/>

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

伊藤忠都市開発株式会社 経営企画部 有吉 TEL:03-6811-0221